

アジアにおける日中印の競争、協力と相互依存

絵所, 秀紀 / ESHO, Hideki

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

科学研究費助成事業 研究成果報告書

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

5

(発行年 / Year)

2016-05

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 5 月 30 日現在

機関番号：32675

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2013～2015

課題番号：25301027

研究課題名(和文) アジアにおける日中印の競争、協力と相互依存

研究課題名(英文) Competition, Cooperation, and Interdependence among Japan, China and India in Asian Region

研究代表者

絵所 秀紀 (ESH0, Hideki)

法政大学・経済学部・教授

研究者番号：10061243

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,300,000円

研究成果の概要(和文)：(1)日本、中国、インド、アセアンの競争優位の変遷を、様々な貿易理論(絶対優位および比較優位)に基づいて明らかにした。(2)相互依存関係(競争と補完)を解明すべく、現地調査に基づいて、グローバル・サプライチェーンという観点から、タイ、マレーシア、フィリピンにおけるテキスタイル産業とアパレル産業の動態を明らかにした。(3)同様に、インドのニットウェアの代表的集積地であるティルプールとバングラデシュのアパレル産業の特徴をも明らかにした。(4)ヴェトナムの二輪産業における日本企業と中国企業の競争関係を明らかにした。

研究成果の概要(英文)：(1) We analyzed the changing trends of comparative as well as absolute advantages of trade among Japan, China, India, and ASEAN. (2) Based on field surveys, we clarified the changing dynamics of textile and apparel industries of Thailand, Malaysia, and the Philippines, using the analytical framework of global value chain. (3) In a same manner, we clarified some characteristics of apparel industry of Tirupur, a representative knitwear cluster of India, and that of Bangladesh. (4) We analysed two-wheeler industry of Vietnam, where Japanese and Chinese firms are fiercely competing.

研究分野：経済学

キーワード：日本、中国、インド グローバル・バリューチェーン 国際競争力 テキスタイル・アパレル産業 アセアン

1. 研究開始当初の背景

(1)中国の GDP は、1978 年の改革開放政策以降 2011 年までの 34 年間にかけて年平均 10% の成長率を達成し、2010 年には日本を抜いて世界第 2 位となった。同様にインドの GNP も 2012 年に日本を抜いて世界第 3 位となった。アジア地域は「世界経済のセンター」として長らく注目をあびてきたが、その推進力となってきた日本に加えて、中国とインドという新たな推進力が参入してきた。

(2)2011 年 10 月にタイで生じた洪水、アジア地域での日本と中国との政治的緊張関係の持続、インド経済の台頭という新たな要素が付け加わる中で、世界経済の中心であるアジア経済の将来を見通すための基礎研究を推進する必要があるということが本研究開始の背景である。

2. 研究の目的

(1) 本研究の目的は、インドとアセアン市場における日中印間の国家間および企業間での競争と補完関係を明らかにすることであった。

(2)上記の目的を達成するために、国際貿易・直接投資の側面から国レベルでの分析を行う。

(3)そして、グローバル・バリューチェーン(GVC)および産業集積という枠組みを利用して、産業レベル・企業レベルでの研究を進展させることが目的であった。

3. 研究の方法

(1)グローバル・バリューチェーンの観点からアセアン諸国での日本企業、中国企業、インド企業の現地調査を行う。これと関連してグローバルイゼーションに伴う日系企業の立地と産業集積の決定要因を探る。

(2)国際貿易、直接投資、企業の立地と集積、開発経済学の理論と実証研究に基づいて、アジアにおける日中印間の競争・補完・相互依存に関する現地調査を、現地の海外協力研究者・海外研究機関と協同して実施する。

4. 研究成果

(1)2 度にわたって国際シンポジウムを開催した。(法政大学比較経済研究所ホームページを参照されたい)。最初の国際シンポジウム「岐路に立つアジア経済：中国、インド、日本」は、本研究のキックオフを告げるもので、2014 年 3 月 1 日、法政大学で開催した。報告者は本研究の代表者・絵所秀紀、研究分担者：田村晶子、胥鵬、渡邊真理子の他、海外からの招聘者：K.J. ジョセフ(インド)、P. パナノンド(タイ)、H. リュー(中国)であった。2 回目の国際シンポジウム「岐路に立つアジア経済：中国、インド、アセアン」

は 2015 年 11 月 14 日-11 月 15 日の 2 日間にかけて法政大学で開催された。報告者は、本研究の研究分担者：田村晶子、胥鵬、武智一貴、近藤章夫、渡邊真理子、藤田麻衣と海外および日本からの招聘者：H. リュウ(中国)、ゲン・アン・トゥ(ベトナム)、K.J. ジョセフ(インド)、佐藤隆広(神戸大学)であった(詳細には法政大学比較経済研究所ホームページを参照されたい)。

(2)代表者・絵所は、独立後から現在に至るまでのインドの経済政策と経済発展の特異的性格を、中国を含む東アジアとの比較を念頭において描き出した。その特徴は、1978 年の改革・開放以降の中国が経験した経路とは対照的に、インドの場合には国内市場向け生産から外国市場向けという経路をたどりつつあること、供給不足経済から需要牽引型経済へと大きくシフトしてきたが、その最大の要因は「緑の革命」によって支えられた農業生産性の改善であったこと、1991 年以降の ICT サービス産業を中心とした高度経済成長は、製造業中心に発展を経験してきた中国や東アジア諸国とは大きく異なる点にある点を明らかにした。

(3)代表者・絵所はグローバル・バリューチェーン(GVC)アプローチを用いてマレーシア、タイ、フィリピン、インド、バングラデシュのテキスタイル・アパレル産業を分析した。テキスタイル・アパレル産業はバイヤードリブ型産業として理解されてきたが、1950-60 年代の日本、そして現在ではインドがプロデューサードリブ型を代表しており、東南アジア諸国では、この 2 つの型が併存していることを明らかにした。

(4)分担者・胥は、企業価値を高めるリスクな投資等の経営意思決定が行われる外資系企業の企業文化が日本企業の成長戦略の触媒になるという点から、対内直接投資を促進する政策が望ましいことを明らかにした。今後 TPP の妥結やアセアンの経済統合を契機に、直接投資の受け入れ国として日本と中国、アセアン、インドとの競争が高まると予測した。

(5)分担者・田村は、企業の投資戦略に整合的なマネージメントを行うことで業績が改善することを実証研究によって明らかにした。

(6) 分担者・胥・田村は、イートン=コータム・モデルを用いて、先進国とアジア主要国の輸出競争力を測定した。比較優位で測定すると中国の競争力は上昇し、2007 年以降はサンプル中でトップであるのに対し、インドの競争力は上昇していない。一方、絶対優位で測定すると中国の順位が下がるため、中国の輸出競争力は低賃金によ

るものと考えられるが、近年では向上しており、R&D 支出の上昇が技術向上に貢献していることを明らかにした。

(7)分担者・近藤は、都市集積および産業集積の観点から、日本とアジアの関係を経済地理学のアプローチから多角的に考察し、都市経済および地域経済の新たな潮流を洞察した。また、東アジアで競争が激化しているフラットパネル・ディスプレイ産業を事例としてとりあげ、既存の産業集積への影響を考察した。

(8)分担者・武智は、従量型コストにより引き起こされる市場の歪みが生じる可能性が高いと、インフラ整備などによる厚生改善効果が従来考えられていたよりも大きいことを示した。この研究は、中国、アセアン、インドのインフラ整備に示唆を与える。さらに、財や情報の地理的な移動にかかるコストについて、品質や貿易コストのタイプを一般化し、日本のデータを用いて、貿易コスト低減による厚生改善効果が大きいことを示した。

(9)分担者・渡邊は、中国の産業別の市場データをもとに、電子電機産業における国有企業、外資、民营企业の競争による市場の質を考察し、さらに省エネ基準の政策効果、豚肉市場の市場構造に関する分析を行った。さらに、中国の国営企業の価格設定からソフト誓約の可能性を探った。

(10)分担者・藤田は、ベトナムの二輪車産業に関する現地調査に基づいて、日系企業と中国系企業との比較研究を進めた。また電動二輪車の分野で、中国とのリンクージュを通じた地場企業が成長しつつあることを確認し、二輪車産業の発展メカニズムを明らかにした。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計16件)

1. KONDO, Akio, "Industrial Dynamics and Locational Adjustment: Implications for Agglomeration Economies from the Case of Flat Panel Displays in Japan, 査読無、*Journal of International Economic Studies*, Vol. 30, 2016, 13-26.
2. TAKECHI, Kazutaka, "Quality Sorting, the Alchian-Allen Effect, and Geography," Proceedings of ICES 2015 International Conference "Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN", 査読無、Discussion Paper No. 196, 2015, 49-76.
3. WATANABE, Mariko, "Identifying Competition Neutrality of SOEs in China," Proceedings of ICES 2015 International

Conference "Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN", 査読無、Discussion Paper No. 196, 2015, 241-288.

4. TAMURA, Akiko and XU, Peng, "China's Competitiveness in Promoting Free Trade," Proceedings of ICES 2015 International Conference "Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN", 査読無、Discussion Paper No. 196, 2015, 27-48.

5. FUJITA, Mai, "The Japanese and Chinese Models of Industrial Organization: Fighting for Supremacy in the Vietnamese Motorcycle Industry," Proceedings of ICES 2015 International Conference "Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN", 査読無、Discussion Paper No. 196, 2015, 77-167.

6. ESHO, Hideki, "Economic Activities of Indian Business Groups in Thailand: Continuity and Discontinuity," 『経済志林』 査読無、82巻1・2号, 2015, 51-104.

7. 絵所秀紀「岐路に立つバングラデシュのガーマント産業 Shahidur Rahman, Broken Promises of Globalization: The Case of the Bangladesh Garment Industry の紹介を兼ねて」『経済志林』 査読無、82巻3号, 2015, 297-321.

8. 絵所秀紀「インド、タミル・ナドゥ州ティルプールの綿ニットウェア集積地の形成と展開 研究史の整理をかねて」『経済志林』 査読無、82巻4号, 2015, 25-83.

9. ESHO, Hideki, "Dynamics of the Textiles and Apparel Industries in Southeast Asia-A Preliminary Analysis," *Journal of International Economic Studies*, 査読無、Vol. 29, 2015, 85-106.

10. TAKECHI, Kazutaka, "The Quality of Distance: Quality Sorting, Alchian-Allen Effect, and Geography," 査読無、RIETI Discussion Paper 15-E-018, 2015, 1-24.

11. SHIMIZU, Nobumasa and TAMURA, Akiko, "The Effects of Business Strategy of Economic Evaluation Techniques of Capital Investment," 査読無、『経済志林』82巻, 2015, 121-143.

12. 胥鵬, "Risk-taking and Firm Growth," 査読無、RIETI Discussion Paper, 2015, 1-33.

13. TAKECHI, Kazutaka, "Cross-border Alliances for Local Market Entry in Pharmaceuticals," *Journal of International Economic Studies*, 査読無、Vol. 28, 2014, 17-35.

14. 絵所秀紀「東南アジアにおけるテキスタイル&アパレル産業のダイナミクス」『経済志林』 査読無、81巻, 2014, 239-315.

15. OHNO, Sanae and XU, Peng, "Hot Money Flow, Money Supply, Mortgage Credit and

Residential Property Prices in China,” 査読無、SSRN Working Papers Series, No. 1, 2013, 1-40.

16. 絵所秀紀「インド経済の現状 経済自由化から現在まで」『経済』査読無、213 巻、2013、68-81.

〔学会発表〕(計 12 件)

1. TAMURA, Akiko and XU, Peng, China's Competitiveness in Promoting Free Trade, The ICES 2015 International Conference “Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN,” 2015 年 11 月 14 日-11 月 15 日、法政大学市ヶ谷キャンパス(東京都・千代田区)。
2. TAKECHI, Kazutaka, Quality Sorting, the Alchian-Allen Effect, and Geography, The ICES 2015 International Conference “Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN,” 2015 年 11 月 14 日-11 月 15 日、法政大学市ヶ谷キャンパス(東京都・千代田区)。
3. FUJITA, Mai, The Japanese and Chinese Models of Industrial Organization: Fighting for Supremacy in the Vietnamese Motorcycle Industry, The ICES 2015 International Conference “Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN,” 2015 年 11 月 14 日-11 月 15 日、法政大学市ヶ谷キャンパス(東京都・千代田区)。
4. WATANABE, Mariko, Identifying Competition Neutrality of SOEs in China, The ICES 2015 International Conference “Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN,” 2015 年 11 月 14 日-11 月 15 日、法政大学市ヶ谷キャンパス(東京都・千代田区)。
5. 田村晶子、企業の投資戦略と貿易・直接投資の選択、国際競争力を高める企業の直接投資戦略と貿易プロジェクト中間報告コンファレンス、2015 年 03 月 20 日、法政大学市ヶ谷キャンパス(東京都・千代田区)。
6. WATANABE, Mariko, State and Entrepreneurship in China: Who create Values in China? NHU 現代中国地域研究拠点連携プログラム第 7 回国際シンポジウム、2014 年 11 月 04 日、東京大学本郷キャンパス(東京都・文京区)。
7. SHIMIZU, Nobumasa and TAMURA, Akiko, Matching Capital Investment Management with Business Strategy, American Accounting Association Annual Meeting, 2014 年 8 月 5 日、アトラント(アメリカ)。
8. TAMURA, Akiko, and XU, Peng, China's Competitiveness after Joining WTO, The ICES 2014 International Conference

“Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN,” 2014 年 03 月 01 日、法政大学(東京都・千代田区)。

9. ESHO, Hideki, Dynamics of Textile and Apparel Industries in South-East Asia, The ICES 2014 International Conference “Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN,” 2014 年 03 月 01 日、法政大学(東京都千代田区)。
10. WATANABE, Mariko, The New Industrial Development in China and its Economic Relation with ASEAN, The ICES 2014 International Conference “Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN,” 2014 年 03 月 01 日、法政大学市ヶ谷キャンパス(東京都・千代田区)。
11. XU, Peng, Abenomics, Northeast Asia Forum 2013 Economic Development and Cooperation in Northeast Asia, 2013 年 09 月 27 日、瀋陽(中国)。
12. OHNO, Sanae, and XU, Peng, Hot Money Flow, Money Supply, Mortgage Credit and Residential Property Prices in China, 2013 Asian FA Conference, 2013 年 07 月 16 日、南昌(中国)。

〔図書〕(計 9 件)

1. 近藤章夫 他『都市空間と産業集積の経済地理分析』日本評論社、2015、263。
2. 藤田麻衣 他『ベトナムの労働市場と雇用問題 統計と先行研究のレビュー』アジア経済研究所、2015、35 (1-21)。
3. XU, Peng, ESHO, Hideki 他、*Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN*, The ICES Working Paper No. 196, 2015、327。
4. WATANABE, Mariko 他、*The Disintegration of Production: Firm Strategy and Industrial Development in China*, Edward Elgar, 2014、360。
5. 絵所秀紀 他『激動のインド・第 3 巻・経済成長のダイナミズム』日本経済評論社、2014、400 (59-130)。
6. 近藤章夫 他、『プロダクト・イノベーションの経済分析』東京大学出版会、2014、248 (65-97)。
7. ESHO, Hideki 他、Routledge, *Industrialization of China and India*, 2013、226 (195-217)。
8. 絵所秀紀 他、『激動のインド・第 1 巻・変動のゆくえ』日本経済評論社、2013、309 (227-263)。
9. 渡邊真理子 他、『中国の産業はどのように発展したのか』勁草書房、2013、352。

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称:

発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

絵所 秀紀 (ESH0, Hideki)
法政大学・経済学部・教授
研究者番号：10061243

(2) 研究分担者

胥 鵬 (XU, Peng)
法政大学・比較経済研究所・教授
研究者番号：60247111

田村 晶子 (TAMURA, Akiko)
法政大学・経済学部・教授
研究者番号：30287841

近藤 章夫 (KONDO, Akio)
法政大学・経済学部・教授
研究者番号：60425725

武智 一貴 (TAKECHI, Kazutaka)
法政大学・経済学部・教授
研究者番号：80386341

渡邊 真理子 (WATANABE, Mariko)
学習院大学・経済学部・教授
研究者番号：10466063

藤田 麻衣 (FUJITA, Mai)
独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター東南アジア
研究グループ・主任研究員
研究者番号：50450507

(3) 連携研究者

()

研究者番号：